

経営比較分析表（平成28年度決算）

兵庫県川西市 川西病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	自治体職員・民間企業出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	15	対象	ド未訓	救臨地輪
人口(人)	建物面積(m ²)	不採算地区病院	看護配置	
159,668	14,540	非該当	7:1	

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
250	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	250
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
234	-	234

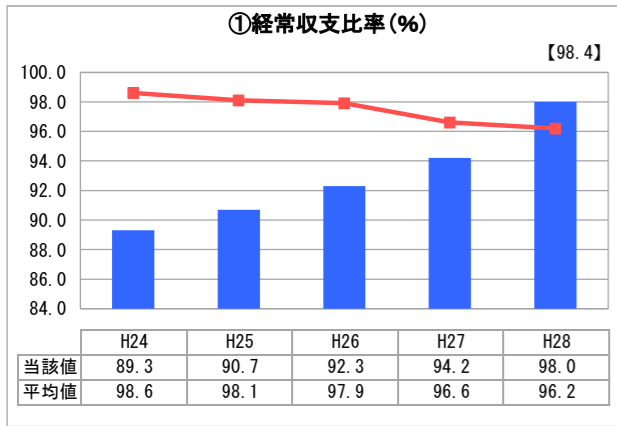
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

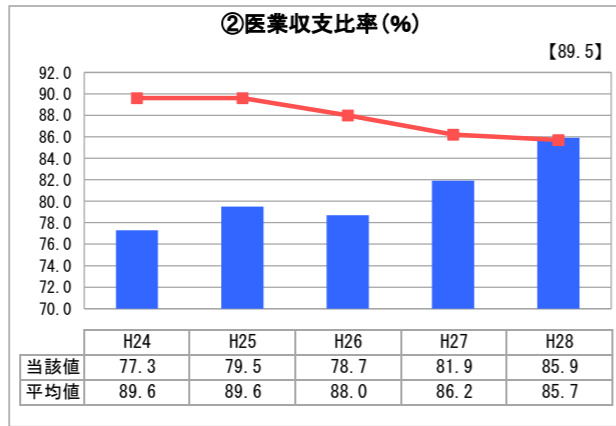
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

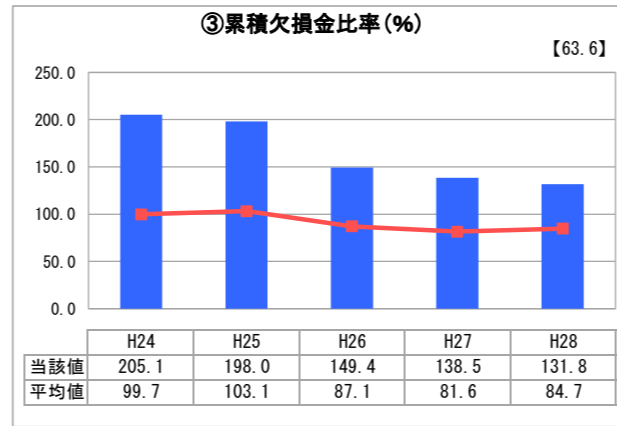
1. 経営の健全性・効率性



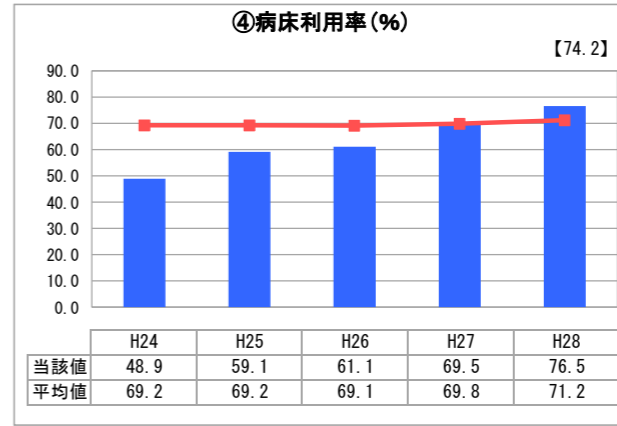
「経常損益」



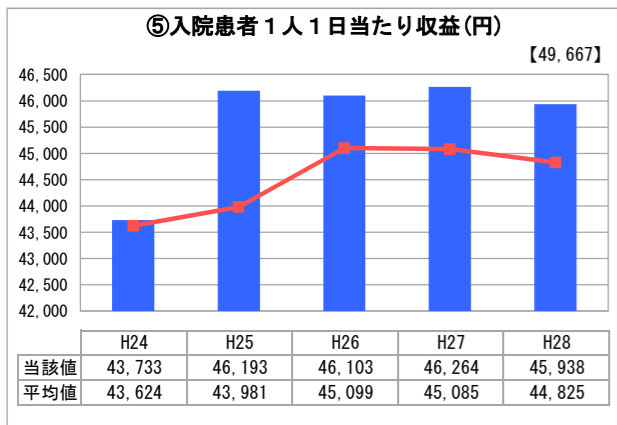
「医業損益」



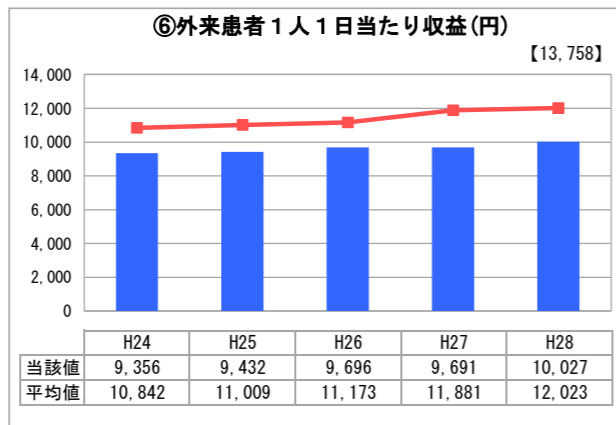
「累積欠損」



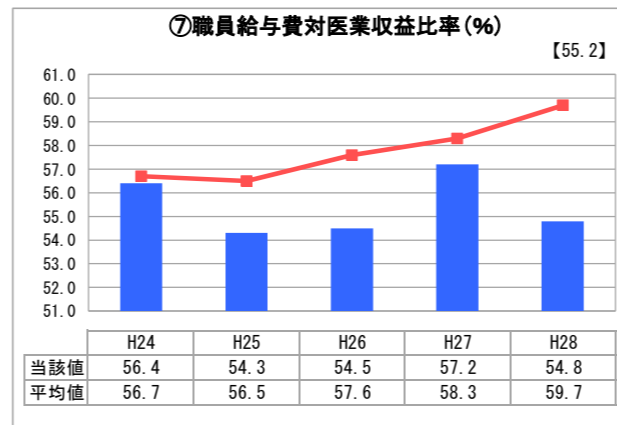
「施設の効率性」



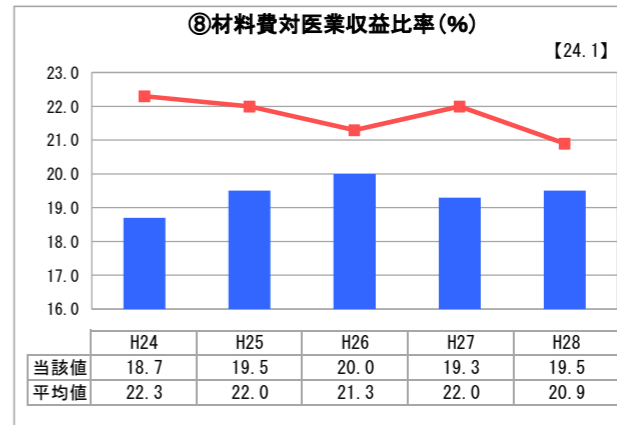
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

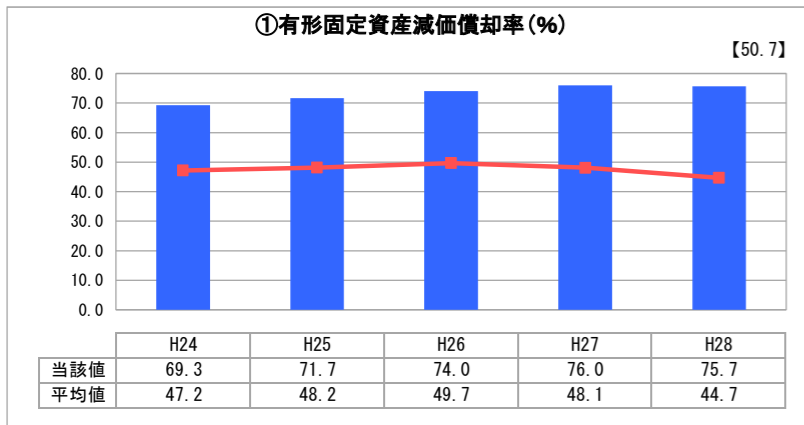


「費用の効率性①」

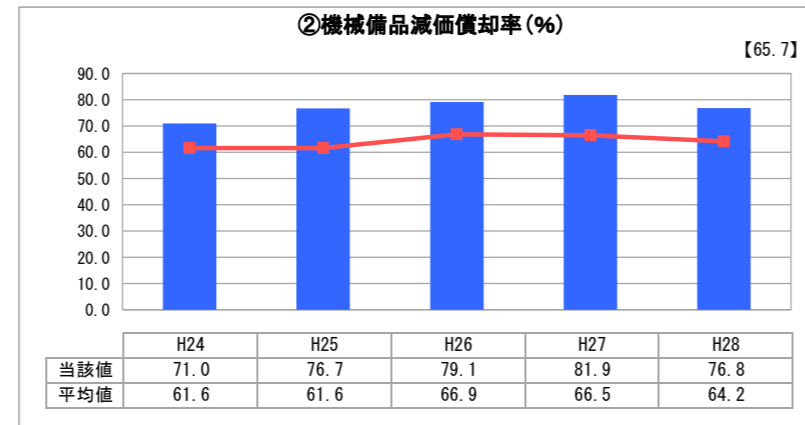


「費用の効率性②」

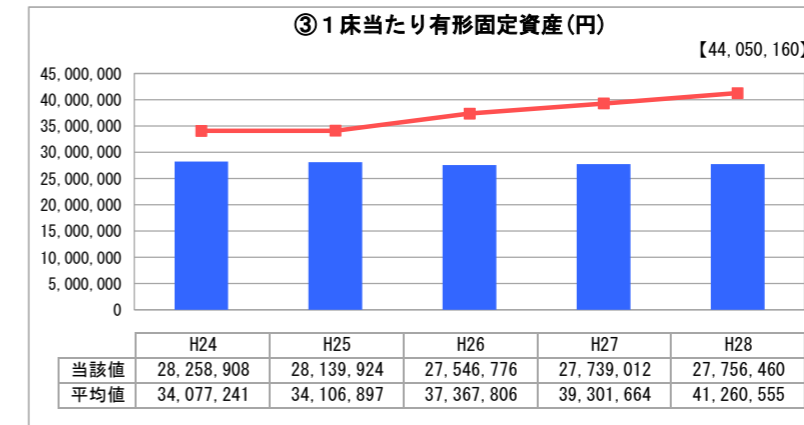
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

市民の命と健康を守り、安心して安全な医療を提供していくために、小児・周産期・救急医療などの政策医療を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率については、市からの支援の充実もあり、平成28年度は、98.0%となった。
また、医業収支比率については、救急搬送患者のさらなる積極的受入れ等により、医業収益は増加した。費用面では、医師退職に伴う補充を慎重に行うなどして給与費を抑制し、委託契約の内容の精査により機器保守管理費用などの経費の抑制にも努めたものの、患者数増による診療材料費の増加や、地域手当等の支給率の改定に伴う給与費の増加、老朽化が顕著となっている設備機器の維持管理に対する一時的な費用の負担が生じ、収支における赤字額は前年度と比較し縮小したものの、85.9%と、依然費用超過の状態が続いている。

2. 老朽化の状況について

病院開設以来30年以上が経過し、施設の法定耐用年数である39年に近づきつつあるほか、昭和58年の開院後、耐用年数を経過した医療機器が多くあるが、資金不足の発生等により平成24年度以後企業債の発行(起債)が認められない状況が続いたため、機器の更新は進んでいない。そのため、有形固定資産・医療機器減価償却率ともに、類似病院平均値と比較し、高い数値となっている。

全体総括

平成28年4月の診療報酬改定の影響もあり、入院診療単価は減となっているが、外科や内科医師の充実を図ることで救急搬送患者受入体制や手術の体制の充実を図り、施設基準取得等による診療報酬単価の増収を図ることで、医業収益増に努める。

今後も、地域医療支援病院として、地域の医療機関との役割分担のもと、期待される良質な医療の提供とともに、経営改善に取り組む。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。